

令和6年度 第10回市民と議会の意見交換会 実施内容

R 6 . 7 . 26, 7 . 27 喜多方市議会

開催状況

日 時	会 場	参加者数（人）		
		男	女	計
7月26日（金） 午後6時30分～8時	山都保健センター	11	3	14
	熱塩加納公民館	12	2	14
	アイデミきたかた	13	4	17
7月27日（土） 午後4時～5時30分	市役所本庁舎	14	4	18
	塩川公民館	13	0	13
	高郷公民館	4	1	5
合	計	67	14	81

班及び役割分担

会 場	山 都 保 健 セ ン タ ー	熱 塩 加 納 公 民 館	ア イ デ ミ き た か た
	市 役 所 本 庁 舎	塩 川 公 民 館	高 郷 公 民 館
司会者 (班 長)	十 二 村 秀 孝	山 口 和 男	佐 原 正 秀
座 長 (総 務 常 任 委 員 会)	矢 吹 哲 哉	遠 藤 吉 正	小 島 雄 一
座 長 (文 教 厚 生 常 任 委 員 会)	五 十 嵐 吉 也	後 藤 誠 司	佐 原 正 秀
座 長 (産 業 建 設 常 任 委 員 会)	渡 部 勇 一	齋 藤 仁 一	齋 藤 勘 一 郎
書 記 者 (総 務 常 任 委 員 会)	上 野 利 一 郎	伊 藤 弘 明	田 中 修 身
書 記 者 (文 教 厚 生 常 任 委 員 会)	坂 内 ま ゆ み	渡 部 忠 寛	高 畑 孝 一
書 記 者 (産 業 建 設 常 任 委 員 会)	菊 地 と も 子	山 口 文 章	渡 部 一 樹

各常任委員会の各テーマについていただきましたご意見・要望等については、議会から市当局への政策提言の参考とし活かしてまいります。

各常任委員会のテーマ

総務常任委員会：「これからの地域課題解決について」

文教厚生常任委員会：「カーボンニュートラル」・「子育て・教育問題」

産業建設常任委員会：「喜多方市オーガニックビレッジ宣言について」・「喜多方ラーメン課・そば課に期待すること」

総務常任委員会：「これからの地域課題解決について」

No.	会場	意見要望等
1	山都保健センター	デマンドバスの利用について、高齢者がスマートフォンアプリを使えないことや、電話予約の混雑が課題として挙げられる一方で、アプリを使えば予約時間の目安が分かるなどの利点もある。もっと高齢者向けの対応が必要である。
2	市役所本庁舎	入田付地区では、避難場所と避難所の区別がつかず、住民への適切な説明ができていない状況にある。
3	市役所本庁舎	空き家の増加と適切な管理について早期の対策が必要である。空き家の放置は景観を損ねるだけでなく、動物の住処になる。
4	市役所本庁舎	除雪作業における高齢者支援の予算確保と高齢者向けの除雪サービスの予算が削減されている状況にある。
5	市役所本庁舎	地域課題の解決に向けた取り組みと予算配分について議論された。参加者から、地域おこし協力隊推進事業の内容や実績、児童クラブの受け入れ体制、学童保育の拡充など、様々な課題について質問や意見が出され。行政側は、各種事業の施策の進捗状況や予算の使途についての説明と市民の立場に立った対応が必要である。
6	市役所本庁舎	人口問題は地域にとって重要な課題であり、今後の対策が必要である。
7	市役所本庁舎	行政では、危険な空き家の解体事業や、一定の補助金制度を設けているが、空き家は今後も増え続ける見込みで、対策が十分でないことが懸念され、特に農村部の空き家は放置される可能性が高いと指摘。
8	熱塩加納公民館	20年前にグリーンツーリズムを始めた。数年するとうまくいかないことが出てくる。きちんとした人材が必要だ。
9	熱塩加納公民館	旧入田付小学校を子供たちの活動に使っていただきたい。

10	熱塩加納公民館	少子高齢化が進行する中で企業誘致が大切だ。働く場所が大事だ。
11	熱塩加納公民館	地域おこし協力隊を熱塩加納に呼んで欲しい。いろいろな活動を一緒にやっていきたい。ビオトープを作ったり、シイタケを栽培したり、やりたいことが沢山ある。
12	熱塩加納公民館	介護に関わっている人が足りなくなっていく。市はそれに対して何か考えているのか。
13	熱塩加納公民館	熱塩加納総合支所に Wi-Fi を入れるべきだ。
14	塩川公民館	学校の統廃合にいろいろ問題がある。統廃合の計画が明確になってくると、子供を他の学校へ通わせる家庭が増える。そしてそれに合わせて親も引っ越してしまう。子供がいなくなって、いずれ大人もいなくなる。困ったことだ。
15	塩川公民館	田植えや稲刈りの時期に帰ってきてしばらく農作業に従事していく方々がいる。それらの方々を関係人口と呼んでいる。それらの方々を増やすことが大切だ。新たな皆さんが訪れて新しい雰囲気が出る。地域おこし協力隊がそうだし、福島大のゼミの皆さんと交流している。彼らがいずれこの地と関係を持ってくれることを望む。
16	塩川公民館	農業を手伝ってくれる若い青年を招いて活動している。
17	塩川公民館	若い人の力を借りたい。人材が欲しい。作業が進まない。
18	塩川公民館	大楚々木の棚田が空いている。水路が残っていて、日本でも珍しい地区だ。その田を使用して、収穫したものはその人のものにする。そうすれば人が居着くだろう。
19	塩川公民館	行政区の高齢化が心配だ。お祭りは単独でできない。この際、各行政区の男女別の年齢構成を調査し、現状を掴むべきだ。各地域、行政区の活動の見直しが求められるかもしれない。さらに、5年後、10年後の小中学校のあり方等も想定できるだろう。
20	塩川公民館	市役所の事業のメニューが沢山あり、市民にはわかりにくい。担当窓口の簡素化が必要ではないか。
21	塩川公民館	消防団員の数が多すぎる。定員の見直しや再編を行っていくべきだ。
22	塩川公民館	空き家の調査について市役所も把握して欲しい。いつ空き家になったのか、区長、組長もわからない場合がある。
23	塩川公民館	ハクビシンが御殿場団地に出た。かまれた人がいる。市の職員が網を持って対応したがどうにもならない。
24	塩川公民館	サルが出ている。ヤギを見るとサルは逃げていくという。ヤギをレンタルしたらいいのではないか。
25	塩川公民館	E V 充電スポットを増やして欲しい。総合支所にも欲しい。
26	塩川公民館	市で墓地の情報をわかりやすく発信してほしい。他の地域から移ってこられた方々にもわかりやすく。
27	塩川公民館	農業と観光をプラスして、地域を活性化させることが必要だ。農業の現状を把握することが、まずはじめにやるべきことだろう。

28	塩川公民館	企業誘致のために道路の整備が必要だ。磐梯町から山都、高郷に抜ける道路をつくり、その道路を核に工場を誘致するべきだ。
29	塩川公民館	喜多方東高校跡地利用について、市民の声をよく聞いて進めてほしい。
30	塩川公民館	道路の消えた白線を補修し、雑草の除草の管理をしっかりとやってほしい。
31	塩川公民館	豊川の新しい道路との接続部分に起伏がありジャンプするような箇所がある。整備すべきだ。
32	塩川公民館	ロードヒーティングの敷設、各地域の雑草、ひび割れ道路や白線消失部の修繕、新しく引いた豊川～慶徳線の既存道路への影響（盛り上がっていてジャンプ台みたいになっている）など道路整備が必要
33	塩川公民館	オンセミ跡地や東高校跡地の再利用方法として、新規事業を興したい住民へ提供できるような公的サービス、子育て施設や子供達の遊ぶ場所、市民の憩いの場（緑地やRCサーキット）はいかがか。
34	アイデミきたかた	人足の草刈りを今までは60人体制でやっていたが、農家を辞める人も出てきて、どんどん減少してきて、今は40人体制である。今までは1時間くらいで終わっていた作業も2時間くらいかかっている。去年は熱中症になった人が出て途中で中止した。人口が減っているのが一番の問題かなと思う。人足に不参加の料金を払って参加しない人が増えて大変である。
35	アイデミきたかた	総務常任委員会資料の2段落目の3行目から6行目が全てです。資料の「一部の地域では行政区の範囲を越えた自治組織を設立し活動しています。」このあたりの情報提供をお願いしたい。
36	アイデミきたかた	商工会議所でもほぼ同じようなテーマで話し合いを進めているが、難しい課題ばかりだなと感じている。
37	アイデミきたかた	空き家が多くなってきている。空き家周辺の除草、防犯上の問題、ゴミの分別がまだ徹底されていないことが課題である。
38	アイデミきたかた	空き家問題では、今のところ大げさな事件はないが、周辺は草がひどく、たぬき、ハクビシンが入ってきて、農作物への被害がある。
39	アイデミきたかた	行政区の弱体化は感じている。成り手不足。協働のまちづくり推進事業、整備事業、一行政区一運動など、わかりにくいので、もっとわかりやすいお金の出し方にした方がいいのではないか。
40	アイデミきたかた	さくらまつりの500円の駐車料金は安すぎると思う。1,000円でもいいと思う。
41	アイデミきたかた	一にも二にも若い人の人口です。今から若い人を取り込む予算に振り向けないといけないと思う。子どもが生活しやすいまちづくりをしていく。それこそが持続可能な社会、自治体の運営につながるのではないかと。確かに大変だと思うが、私たちのふるさと喜多方を残すためにも、だからこそ子供に使うべきだと思います。

42	アイデミきたかた	子どもが3人いて、もう一人欲しいと思う時もあるが、物価高でお金が大変です。特に食費。また、これからの教育費などを考えると不安しかない。支援いただけたらと思う。
43	アイデミきたかた	子どもを一人産んだら100万円、二人産んだら200万円とか、そのぐらいのレベルでやってもらいたい。他には、家賃や出産費の補助。国がやらないなら市でやっていただきたい。
44	アイデミきたかた	資源回収について、喜多方市の場合は衣類が廃棄物（燃えるゴミ）になっている。リサイクルできるように資源ごみ扱いにならないかと思っている。衣類の回収ボックスを設置している自治体もあると聞いている。
45	アイデミきたかた	救急医療について、ほとんどが会津若松へ行ってしまう。喜多方市内で賄えないものでしょうか。
46	アイデミきたかた	高齢化が進んでいると感じる。草刈り作業も法面作業は厳しい。若者が地域に残れる政策を進めていただきたい。
47	アイデミきたかた	若者が地域に残ると同時に、よそから移り住んでもらう環境を整えるしかないと思う。若者を受け入れられるようなシステムを整えることはできないか。例えば空き家の活用。地域おこし協力隊だった人が2名定着している。
48	アイデミきたかた	比較的に活気があるところかもしれない。しかし、20年前に開発されたところで、空き家もちらほら発生している。箱物が実は一番お金がかかる。その課題が大きいと思う。子供たちにお金を使ってほしい。御殿場地区には、バスが通っていないしお店もない。
49	アイデミきたかた	喜多方の人は、冬は雪が降るからと悪い宣伝のし過ぎだと思う。最近は降らない。喜多方は、暮らしやすいとみんなに言えばいいと思う。
50	高郷公民館	今一番問題なのは水路系。地滑り地区に指定されていて、数十年前に設置された鉄管の用水路がほとんど穴あきになっている。7～8年前から要望しているが現状もそのままである。県の事業と聞いている。
51	高郷公民館	土地改良区の問題ですが、田んぼの水は全部、阿賀川水系只見川からポンプアップしている。電気代が高くなって大変になってきたこと。減反も増えている。しかし減反していても、使わなくても同じ料金を負担している。これはかなり大変です。これから先、農業ができなくなっても、それだけ（電気代）は負担がかかってくる。地域では「どうしたらいいのか」という話になっている。水揚げ料（電気料）は、1反1万円くらい、3町作れば30万円、減反しても同じ金額である。それなんとかできなかと思っている。
52	高郷公民館	鳥獣被害と限界集落問題。手がつけられなければ人間がそこを逃げ出すしかなくなっている。
53	高郷公民館	磐見地区などには、電気柵が整ってきたので、里に降りて来ている。橋を渡ってくるのは時間の問題だ。
54	高郷公民館	有害鳥獣対策（イノシシ、クマ、サル）を高郷町行政区長会として強く要望している。年々増えて来ていて、このまま放置していたら減って行くことはないだろう、早めに手を打たないと被害はますますひどくなる一方である。市とし

		て、有害鳥獣対策を本気になってやってもらいたい。今、問題になっているのは、耕作放棄地が増えている。こちらには住んでいないが、土地だけは残っている。そこをイノシシにかなり荒らされている。このまま放っておいたら大雨が降ったら田んぼの法面が崩れて、被害が出てしまう。したがって誰かがやらなければならない。今までは、自分の土地は自分で対応していたが、今回そういうことがあったので、だれも対応できない。行政区のお金を持ち出してやるしかない。
55	高郷公民館	一番困っているのは、鳥獣害対策である。イノシシ、サル、クマである。サルもここ2～3年出るようになって相当被害を受けている。活性化で直売所を作っているが、ここにきて毎年サルでジャガイモ、サトイモ、トウモロコシが被害にあっている。電気柵はやっているのですが、だんだん慣れてきている。地区の半分以上が高齢者85歳以上で、電気柵設置の作業も厳しい。今度、県の方針としても、サルとかクマについても駆除とか対策もGPSを付けるとか期待はしているが、5～6年前から市で鳥獣対策にきて、上の行政区に出た時に、県に頼んでサルの実態調査とか何年もかけてやっと、警報が鳴るような施設を設置したりしたが、結局対策は電気柵で、それでは解決にならない。クマで去年はソバが全滅だった。集落だけで5頭駆除した。被害は深刻である。やる気もなくなってきた。国もクマの方針を変えるようなので、議会と市で鳥獣対策を考えていかないと、集落維持という部分ができなくなってしまう。意欲がなくなってしまう。お年寄りが一番がっかりしている。
56	高郷公民館	磐見地区では罠かけの資格をみんなで作るようにして、地区だけで対策協議会を作ってイノシシやクマがかかる時がある。自主対策はやっているが追い付かない。
57	高郷公民館	市の電気柵の補助金が削減された。市の本気度が問われると思う。
58	高郷公民館	旧市内にとっては、人口減少が課題で、一人でも二人でも来てもらおうと活性化になる。一小学区でも人口が減ってきている。これからどういう取組が必要なのか悩んでいる。お祭りの山車の維持も厳しくなっている。
59	高郷公民館	住みやすいまちづくりをやってもらって、人口がこれ以上減らないようにしていただきたい。保守とか革新とかじゃなくて、みんなでやっていかないといけないと思う。
60	高郷公民館	喜多方の場合、農業がしっかりして先頭になってやっていかなければ。農家の方がまずよくなって、ブランド化や拠点づくりで農業の生産所得が上がるのが大事だと思う。農家の所得が上がり、購買威力が上がらないと喜多方はよくなると思う。
61	高郷公民館	景気に左右されない男子型企业が必要だと思う。一部上場企業、田村市や西郷村の例。

文教厚生常任委員会：「カーボンニュートラル」・「子育て・教育問題」

No.	会場	意見要望等
1	山都保健センター	森林組合のすすめで古いスギの木を伐り、新たにカラマツを植えた。20年間は森林組合で管理してくれるということで本当に助かった。新しい木を植えることにより、二酸化炭素の吸収量が上がるということで一石二鳥だ。このような事業があることを議員のみなさんの方から提案してほしい。
2	山都保健センター	高齢化が進み山の管理ができなくなって木が育たない。山が荒れているため獣も多い。大変な問題だ。
3	山都保健センター	薪風呂使っているが取り扱う業者が1業者になり価格が倍になり大変だ。補助金対象になるのか。
4	山都保健センター	自伐型林業に対しての喜多方市の助成金はどのようになっているのか。全国各地で広がっているが喜多方市はどうなのか。自伐型林業を進めることで獣対策にもつながるのではないか。
5	山都保健センター	介護による紙オムツをごみとして出している。紙オムツを燃料に変える取り組みをぜひお願いしたい。
6	山都保健センター	会津は自然に恵まれ良いところである再生可能エネルギー太陽光発電のパネルの設置に取り組んでいるが、緑豊かな自然を壊しているのではないか。喜多方市は業者に許可するための規制はあるのか。古くなったパネルの後始末をどうするのか。弊害が大きすぎるのではないか。やっているがことが違うのではないか。手入れして木を植えた方がいいのではないか。
7	山都保健センター	小児科医療体制整備は大変大事です。しっかりとやってほしい。
8	山都保健センター	産科、婦人科医療体制が整っていないのでとても不安だ。産科がないところには若い人は住まない。ぜひ考えていただきたい。
9	山都保健センター	塩川町の児童館が狭いとの声があるので改修事業進めてほしい。
10	山都保健センター	自然教育、地域のプライドを植え付ける教育が必要ではないか。
11	山都保健センター	質の高い教育と何か、何をもって質が高いというのか、一本柱をつくるべきだ。
12	市役所本庁舎	2013年からCO ² の目標排出量は出されているが、毎年の実績を出してほしい。目標だけではダメだ。今から数字を出してほしい。人口が減ることによりカーボンがどのように減るのか具体的に。国では太陽光発電で何パーセントの電気を賄おうしているのか。市民は何を協力したらいいのかわからない。
13	市役所本庁舎	一般人にはわかりにくい問題だ。市民は簡単に言うとどのような取組をすればいいのかわからない。市民に対する説

		明が具体的でないとな何をすべきかわからない。
14	市役所本庁舎	市としては何を一番の取組として考えているのか、明確にすべきだ。
15	市役所本庁舎	厚木市では道路の街路灯に太陽光発電・風力などを利用した取組をしているがそういうことに転換できないか。また一般家庭については、太陽光発電の設置はお金がかかるのでエアコンの使用軽減をするため二重扉等を推奨することも必要ではないか。なるべくお金をかけないで夏は涼しく、冬は暖かく生活できる方法を考えてほしい。
16	市役所本庁舎	森林はカーボンニュートラルとかかわっている。外国人が森林を買い込んでいるのかどうか調べているのか。この近辺は大丈夫なのか。売る方も困っているから売る。売らないためにどうすべきか考えることが大切ではないか。
17	市役所本庁舎	子育て以前に働く場所がない。結婚もできない。子供も生まれえない。それが現状だと思う。その辺をしっかりとってほしい。
18	市役所本庁舎	子供たちが会津若松の高校通うようになってから、ますます子供たちが喜多方に残らなくなったのではないかと。会津若松の高校から大学へ、そして都会で就職して若い人は減るばかりだ。喜多方に定着しない。
19	市役所本庁舎	喜多方市には産婦人科がなくなった。会津若松まで行かなければならない。
20	熱塩加納公民館	子供を産み育てる環境をさらに充実することが大切である。未来のビジョンをしっかりとって取り組んでいただきたい。
21	熱塩加納公民館	未婚・晩婚が増え、町に仕事がない。若い人の考え方も変わってきており、出会いの場も少なくなっている。
22	熱塩加納公民館	学校の統合には賛成。ある程度の人数がいることで多様性や社会性の向上に繋がる。また、クラブ活動や部活動のレパートリーも増える。
23	熱塩加納公民館	統廃合などに伴う備品(テーブルや椅子など)をその地域の公民館や集会場などに払い下げしていただきたい。流用することによるコスト削減にも繋がるのでは。
24	熱塩加納公民館	熱塩加納地区からの転出者が多い。若い人の流出や利便性のよい場所へ移住してしまう。消えかかっている集落もある。事実談として子育て世代が旧市内や塩川などに家を建てて引っ越すケースが多い。
25	熱塩加納公民館	次年度、熱塩加納小学校となるが、統合したばかりで学校が無くならないようにしてほしい。何故なら地域に子供がいなくなると急激に衰退してしまう。
26	熱塩加納公民館	関係人口を増やすこと。また熱塩加納ならではの素晴らしい環境を活かして環境に特化した教育(生き物調査研究など)を行ってほしい。
27	熱塩加納公民館	第三小学校の名前を決める時に地域の公民館長を招集してほしかった。安易に漢数字を使うのではなく、歴史的背景

		も考慮した学校名とすべきだったと考える。
28	塩川公民館	中山間地域に小水力発電所の設置を検討してほしい。環境にやさしい電力の自給自足化を目指してほしい。
29	塩川公民館	生ごみを利用したメタンガスバイオマス発電を検討してほしい。
30	塩川公民館	ゴミの分別化をしっかりしてほしい。燃やせるゴミを完全焼却するのに油を使っていると聞いた。カーボンニュートラルに逆行しているのではないか。
31	塩川公民館	CO ₂ については排出量を抑えるのも大事だが、吸収量を上げることも大切。どのような方法があるか教えてほしい。
32	塩川公民館	学校の統廃合については将来的な推計をもとになるべく早期に取り組み、市民へもわかりやすく説明すべき。子供たちの利益を最優先して取り組んでいただきたい。
33	塩川公民館	学校の統廃合は旧町村の枠組みを撤廃して全域で行うべき。校舎やプール、他公共施設も含めた維持管理費についても精査して取り組んでいただきたい。
34	塩川公民館	子どもを増やす施策として、学校給食費の無償化やランドセルから文房具に至るまで無償で提供するぐらい大胆な子育て施策に舵取りをしてはどうか。
35	塩川公民館	学校の統廃合は反対。集落の維持が大事であり、若い世帯が住みやすいような環境にすることが肝要である。
36	塩川公民館	小学校の予算削減化で子ども新聞の購読が出来なくなった。大きなコストでもないのに子どもの利益や情報享受に繋がるものを撤廃したのはなぜか。復活していただきたい。
37	塩川公民館	通学路を含めて交差点の横断歩道が消えかかっている箇所がある。何とかできないか。危険箇所にも看板の設置などしてほしい。
38	塩川公民館	市の医療体制が低下、高齢化している。特に小児科や産婦人科など子供に関連した医療施設が少ない。
39	塩川公民館	塩川であると姥堂小学校の児童数が少ない。一方、塩川小学校では生徒数が多く、教室がギリギリの状況である。学区再編成をしてはどうか。
40	塩川公民館	子供が楽しめるようなイベントや祭礼を増やし、手厚くして、人口減抑制の一助としてはどうか。その際は市でも強力に応援してほしい。
41	塩川公民館	小水力発電建設を各地の河川や水路に作って地産地消を目指し、大手電力会社の料金に左右されない住民生活の確保と道路におけるロードヒーティングの電力確保につなげる。
42	塩川公民館	各行政区にその住民が入れるような宿泊施設を建設し、災害時への避難場所として、電気・ガス・水道・通信が遮断しない生活が確保できるように、通常時は子育て施設や宿泊研修施設としても使える。また、管理職員も配置し、雇用と

		飲食・娯楽施設業者入れたりして産業へもつなげる。
43	塩川公民館	子供達への負担を減らし、生き生きと育つように、給食費無償やランドセルや教科書などの親の負担を減らす。少子化とはいえ、学校の統廃合をしてはいけない。通学時間で、子供の睡眠をはじめ、宿題や友達と遊ぶ時間を奪ってはいけない。
44	アイデミきたかた	温室効果ガスの排出ゼロという事について、どこに的を絞っていくのか。しっかりしたアプローチを示すべき。
45	アイデミきたかた	そもそも日本の排出ガスの量は世界全体で考えたとき、3.2%で世界5位である。それだけの排出量しかないのに巨額の金をつぎ込む意味があるのか。
46	アイデミきたかた	子供の数が減っている原因は何か考えることが大切。2018年で3,400人の子供がいた。2024年は3089人となった。
47	アイデミきたかた	子供を産む親が減ったという事。喜多方に来て子供を育てたいという親が減ったという事だ。子育て支援策が弱い。
48	アイデミきたかた	例えば出産費用の場合、全額補助というが足りなくて10~20万円くらい個人負担がある。子供を産ませたいと実感できるような施策が必要だ。
49	アイデミきたかた	せっかくアイデミを作ったのでもっともっと活用すべきだ。PRが弱い。施設の魅力を宣伝すべき。
50	アイデミきたかた	住居補助も親世代と100m以内の補助があるが、これも同じ市内に要件を広げるべき。多くの補助制度があっても自分で調べないとわからない。もっとPR、発信をして欲しい。説明書も文章が多くてわかりづらい。もっと目に訴えるものにして欲しい。
51	アイデミきたかた	カーボンニュートラルについて役所がやってくれると思っている。また会津若松と比べると分別が進んでいない。多くを燃やしている。プラなのに燃えるゴミで出している。
52	アイデミきたかた	プラを使わない、使わせない取組もある。トレイも削減する取組もある。スーパーにも協力を求めて削減することも大事。
53	アイデミきたかた	ナイトめごプラザについて、その時にお子さんは施設の人に面倒を見てもらって、親がこうした意見交換会に参加するというスタイルも良いと思う。そうすると子育て世代も参加出来ると思う。昼では参加出来ない人もいる。ここでなくても、子供を預かりますという対応をとれば他の会議場でも出来ることだ。
54	アイデミきたかた	子育て問題で、今日の資料の中にゲームづけを断ち切ろう。というのがあるが子供がゲームをやることに制限を付けるのはおかしいのではないかと思う。子供が興味を持つ事に対し、抑制するようなことはどうなのか。
55	アイデミきたかた	カーボンニュートラルは何をメインにしているのか、家庭なのか、自動車なのか、工場なのか。市で把握している排出量を市民に公開してどう取り組むかを示すべきではないか。
56	アイデミきたかた	太陽光発電はリサイクルの技術がまだ確立されていない。会津若松は風力発電を大規模に設置するようだが、環境や鳥類な

		ど自然保護に関して問題になっている。
57	アイデミきたかた	日本の排出量は世界でもそれほど多くはない。その中で大金をかけて本気で取り組む必要があるのか。
58	アイデミきたかた	薪ボイラーの活用、山に入れる人達を育てる事。それで生活出来るような仕組みづくりをやってほしい。山が再生すれば、鳥獣被害も少なくなる。若い人たちが関心を示すようなアクションを起こすことが大切だ。
59	アイデミきたかた	自伐型林業は冬季の方が木を切り出しやすい。雪の上を滑らせるから。
60	アイデミきたかた	自伐型林業推進協議会が自治体と連携してやっているところもある。
61	アイデミきたかた	CO ² 排出量について喜多方市民一人当たりどれ位排出しているのか現実を知りたい。その上で対策を示したり、山の持つ機能などを子供達に学ばせることが大切。
62	アイデミきたかた	電気自動車を買うと国と市から補助金が出るが、市はいくらも出ない。
63	アイデミきたかた	70%が化石燃料である現在、よほどのピンポイントの政策をやらないとゼロカーボンは難しい。市がどのようにして達成するのが見えない。
64	アイデミきたかた	商工会議所だが、私達は見える化をやるべきと言っている。企業ごとに毎日いくらのCO ² を排出しています。というような見える化が大切。それを月々示して分析するなど。各家庭でもそうした事が出来る。
65	アイデミきたかた	子育てを喜多方市でやってみたいと思える施策のひとつとして退職教員が無償で子供達の学習支援を行うことが出来る場を行政の責任でやっていただけないか。
66	アイデミきたかた	喜多方市でこども食堂があることをどれほどの人が知っているのか。知られていないのであれば、もっと広報をして、もっと食材を集めてやる事が出来ないか。食材ロスを減らそうとしてこども食堂への食材支援が減ったとNHKの放送を見た。そうしたことが無いように本気で取り組んで欲しい。
67	高郷公民館	カーボンニュートラルについて何となくはわかるが本当に何をやるのか。何を目指しているのかとなるといまいちわからない。一般にもそれは浸透していない。それが問題だと思う。更に目標の数値がわからない。どこまでやったらそれが成果といえるのかわからない。もっと市民に伝わるような表現をしてほしい。やっていることには賛成であるが。我々が協力していくにもピンと来ないのでは。
68	高郷公民館	子育て・教育支援について、高郷・山都で中学校の統合が固まっている。それは仕方がないことだが、少子化を招いた原因は何かという事を考える事が大切。子供が少ない、それは結婚する人が少ないことと、さらに移住をもっと進めること。
69	高郷公民館	婚でも子育てでも、喜多方はこれをやるのだという目玉をどんと打ち出してほしい。メニューが多いのは良いけれど目玉は必要。例えば住宅は無償とか、〇〇は負担ゼロとか。喜多方はそこまでやるのかというものが大切。

70	高郷公民館	高郷に住んで 15 年くらいだが、地元にいるのに荻野や喜多方に新しい家を建てて住む傾向がある。そして子供さんに親達が付いていくケースが結構多い。地元の学校に通えない訳ではないのに移ってしまう。学校の統廃合ということだけでもいいのかなと思える。農業体験でかなり受け入れているが、高郷や山都の子供たちが一クラス 10 人とかでやっているのに対し、都会から来る子供達はバス 1 台くらいで来るから皆でワイワイと楽しそうにやっている。そこで楽しい思い出を作っていく。それが 10 人一クラスで、将来大きくなって高郷や山都に目を向けるかとなると寂しい感じがする。
71	高郷公民館	農家が発展しないと喜多方全体が発展しない。しかし、農業の機械は高いし、しかも稼働時間は短い。大きくやっている所も余裕はないのが現状だ。結婚の問題においても、昔は世話を焼く人がいたけれど、今はいない。女性の結婚観も変わってきている。人口減少は激しいし、どこでもそんな状態だ。

産業建設常任委員会：「喜多方市オーガニックビレッジ宣言について」・「喜多方ラーメン課・そば課に期待すること」

No.	会場	意見要望等
1	山都保健センター	熱塩加納の学校給食の取組みを少しずつ市内に広めていくことがひとつの方法だと思う。
2	山都保健センター	耶麻農業高校が来年 3 月で廃校になるが、有効活用することがオーガニックビレッジ宣言と何かしら絡められないかと思う。地元の人には耶麻農業高校がなくなることをとても残念に思っている。
3	山都保健センター	オーガニックビレッジ宣言の内容を聞いていると良いことだと思うが、農業人口が減っているにもかかわらず。農地面積は維持しなさいという。そうすると一人に対する負荷が増える。有機農業はマンパワーが必要、宣言するのはいいが如何なものか。
4	山都保健センター	オーガニックビレッジ宣言をしたなら、米だけでなく、ラーメンも地元の無農薬小麦を使ったら良いのではないかと。
5	山都保健センター	宣言するのは良いが、目標を 0.5%から 25%にするには相当大変だと思う。
6	山都保健センター	児島徳夫氏が力を入れてきた有機農法では、個人的に農業道場で若い人たちを都会から集め育成していた。佐瀬与次右衛門の会津農書の世界を活かした農業を売りにして、古典的な会津の農法に取組み、農業経営していった方が良いのでは。
7	山都保健センター	小麦栽培が広がっている。学校給食に地元産小麦粉を使ったパンや麺を使用してほしい。
8	山都保健センター	昭和 40 年代に山都で農業大学講座を実施していた。これからは、専門家を配置して、公民館中心とか地域ごとに農業

		を学ぶ講座を実施し、市民農園でやりたい人や若いお母さんなど、興味を持ってもらい技術を継承していくことが大事である。
9	山都保健センター	有機農業をやりたいという方が、市に相談に行ったら、資材は農協、技術は普及所に聞いて下さいと言われがっかりしていた。そういうセクションに有機農業専門家を配置していく、いなかったら今から育てていく必要がある。
10	山都保健センター	耶麻農業高校跡地利用について、市がしっかり検討して欲しい。田畑だけでは貸してもらえない、何とかしてほしい。
11	山都保健センター	山都支所に、そば課を設けて欲しい。
12	山都保健センター	どこの課もプロが少なくなっている、そばのプロ、ラーメンのプロを今から配置していかないといけない。今いる職員を育ててほしい。
13	山都保健センター	ラーメンにもっと地産地消を進めて欲しい。
14	市役所本庁舎	「オーガニックビレッジ宣言」は良いと思うが、宣言の説明に、有機農業は環境負荷が少なく生物多様性、地球温暖化防止に効果的とあるが、地球温暖化のことでオーガニックをやっていくのか。
15	市役所本庁舎	「オーガニックビレッジ宣言」はしたが、何を推奨していくのか、疑問を感じる。
16	市役所本庁舎	地方の農業の役割は非常に大きい。地域に一つのセンターを設け、農家の人ともっと深く結びつき進めていく必要がある。今のままではなくなってしまう、今後の農業に対し市としてはどのように取り組んでいくのか。
17	市役所本庁舎	学校給食でパンの日1回、麺の日1回、週に2回実施しているが外国産小麦を食べさせてほしくない、集合米飯を考えて欲しい。熱塩加納の給食が特別栽培米に切り替わったのが嬉しい。
18	市役所本庁舎	地産地消を進め、健康づくりに取り組んでいけばどうか。
19	市役所本庁舎	若い就農者に取り組んで欲しい。そうしないと今後続かないのでは。
20	市役所本庁舎	大規模農家を優遇しているが、小規模農家さんがやっていけるよう支援をしていただきたい。
21	市役所本庁舎	「オーガニックビレッジ宣言」をして間もない、具体的な取組みはこれからだと思う。期待する。この取組が子育て世代にもうまくつながり、それが喜多方の魅力になったらいいと考える。
22	市役所本庁舎	そばやラーメンの概念を変えていかないと尻切トンボになってしまう。例えば、そばガレットやパスタ風にアレンジして付加価値を付けた商品を作るべき。
23	市役所本庁舎	全店舗で地元産そば粉を使用しているのか。
24	市役所本庁舎	ラーメンもそばも材料は地場産業の中で作られていかないと、底上げにならない。付加価値をつけないといけない。
25	市役所本庁舎	美味しい山都のそばを食べたいが、車がないのでなかなか行けない。そばを食べるためのバスを1便でも出して欲しい。

		い。
26	市役所本庁舎	ラーメンが3,000円ではついていけない。
27	市役所本庁舎	旧喜多方のそば屋などをもっと宣伝して欲しい。
28	市役所本庁舎	ラーメン課・そば課に期待することは、来年からプレDC、アフターDCが開催される。それに向けて喜多方の方から主体的に情報発信を行っていただきたい。県に従うのではなく市として動いて欲しい。
29	市役所本庁舎	会津若松は滞在時間が長い。喜多方はラーメンを食べたら他を観ないで素通りして帰ってしまうので、喜多方の体質を変えるべき、滞在時間を延ばす方策を考えて欲しい。
30	熱塩加納公民館	食堂を運営している。喜多方ラーメンの日が制定されたことは感謝している。後継者問題は難しいと思っている。課題も多くある。レトロ横丁などのイベントでも、積極的に喜多方ラーメンをPRしてほしい。
31	熱塩加納公民館	後継者問題で、地域おこし協力隊はどのように活動しているのか。喜多方ラーメンの地域おこし協力隊は、今後の移住定住はどうか。
32	熱塩加納公民館	ラーメンの映画があるみたいだが、市として何らかの形で関わっているのか。
33	熱塩加納公民館	佐野市の取組を実施してみてもどうか。
34	熱塩加納公民館	さまざまな喜多方ラーメンがある。喜多方ラーメンの定義をつくってみたらどうか。
35	熱塩加納公民館	ラーメン会などの支援だけでなく、市全体のラーメン・そばの支援をお願いします。老舗が辞めていく現状で、もっと市民がラーメン・そばを応援するのが必要。
36	熱塩加納公民館	喜多方市民に対しラーメンを多く食べてほしいと言っているが、かたや健康問題(塩分制限)など注意してくださいなど言っている。ラーメン単価も高くなっていて市民が気軽に食べられなくなっている。
37	熱塩加納公民館	ラーメンはどこをターゲットにしているのか。ラーメンを食べに来るまでのいろいろな過程があると思うが、どこにターゲット置いているのかわからない。
38	熱塩加納公民館	喜多方市には観光地として優れている所が多くある。観光資源として活かせる活動をしてほしい。現状、資源活用できていない。市の本気が感じられない。ツアーなどで観光客が多く来ているが、ラーメン資源では今後難しいと感じる。それらを含めて、喜多方市の今後の方向性を市と議会が示していく事が大事である。
39	熱塩加納公民館	ラーメン店の後継者問題が進んでいる中で、市としてどのような対応しているのか。ラーメン文化が衰退するのがもったいない。後継者がいるのといないのでは、まったく状況が違う。
40	熱塩加納公民館	喜多方ラーメンが一番美味しいと思う。ラーメンに関わる材料を地元生産者が直接提供できるように考えて欲しい。現

		在ラーメン屋だけが儲かっているように感じる。材料を地元産で使っていただくと市民がもっと盛り上がっていくと思う。生産者から店舗まですべてが関われるようにしていただきたい。
41	熱塩加納公民館	喜多方ラーメン課・そば課ができたが、現状としてイベントでしか対応できていないと思う。今後はそれ以外にも力を入れてほしい。
42	熱塩加納公民館	山間地など遊休地が増えていく中で、小麦やそばをつくれるような環境にしてほしい。
43	熱塩加納公民館	オーガニックなど本当の自然を大切にする特性を活かせばツアーなど観光客が多く入ってくる。もっと力をいれて取り組んで欲しい。ラーメンなどの資源では今後の観光客拡大は難しい市内には、観光資源が沢山ある。皆さんが知らないだけで、隠れた観光資源を活かしてください。
44	塩川公民館	駒形地区ではさくらまつり等でそばを提供していたが、高齢化の問題で、駒形そば会が辞めてしまった。そば職人の育成を考えてほしい。
45	塩川公民館	新しいラーメン屋ができたが、ラーメン課・そば課やラーメンの関係者など来店していない。イベントも大切だが現場をよく見て欲しい。県外の方が出店したが、補助や支援がなかった。今後は補助金や支援を考えてほしい。
46	塩川公民館	リピーターがいる中で、今後店が少なくなっていく。新しい店の紹介や呼び込みが必要。インバウンドで多くの観光客が来ても、有名店や大きな店にしか行かないことがある。ラーメン客の入れ込みの現状(店別)を調べて欲しい。
47	塩川公民館	県外から来ている客が、ラーメンを食べに来ても食べきれしていない。特に連休中は、有名店にしか行かない。
48	塩川公民館	3,000 円のラーメンの販売実績は。また 3,000 円のラーメンの食材について教えて欲しい。また周知がまだまだと思う。提供できる店には、のぼりを掲げるなどわかりやすい表示が必要と思う。3,000 円のラーメンの良い所を現状の喜多方ラーメンに取り入れてみては。
49	塩川公民館	オーガニックの意味を知らないのでは。意味をしっかりと伝えて欲しい。まだPR不足ではないか。わかりやすく広告して欲しい。
50	塩川公民館	現在のオーガニック取組面積については。オーガニック品を目にする機会が少ない。
51	塩川公民館	J A S は厳しくオーガニックビレッジには参加できない。管理が大変で、生産者の高齢化、若手が育たないときつのが現状である。農家へのサポートが必要。土地、機械購入補助、世代交代がうまくいっていない。関係団体とのしがらみもある。また外国人労働者を受け入れしないで、地元の雇用をお願いしたい。農家の現状を確認し市民に伝えて欲しい。問題を周知し市民から応援を頂いて欲しい。
52	塩川公民館	農業従事者と、土地や農機具などへの配慮が重要で、農家は個人事業者なので納税も大変だし、作りすぎや売れなか

		ったりしたとき行政がカバーしてほしい。
53	塩川公民館	外国人や他からの移住者に依存せず、市民の取組となれる視点が重要である。
54	塩川公民館	喜多方ラーメンはすでにに全国レベルの知名度で、山都そばはそれに匹敵するので、行政として何をするのか。(観光案内やイベントで集客など)
55	塩川公民館	喜多方ラーメン産業(なりわい)としての事業者の下支えが必要。
56	塩川公民館	喜多方ラーメンのブランド力は十分あるので、ふるさと納税返礼品などにはせず、現地に来てもらうくらいのプライドでやってほしい。
57	アイデミきたかた	オーガニックを推進する土壌が喜多方市にはある。ある程度の規模の地区を設定してそこから取組を広げていけるかがポイントだと思う。
58	アイデミきたかた	宣言するだけでなく、具体的な支援や人材の呼び込みなど今後の取組に注目したい。
59	アイデミきたかた	農業まつりなどのイベント時などに有機の農産物をPRしてみては。
60	アイデミきたかた	成功事例のモデルを示さないと新規参入が期待できないのではないかな。
61	アイデミきたかた	米国では40年ほど前から専門のスーパーがあった。食文化の違いもある。宣言だけで終わらないでほしい。
62	アイデミきたかた	農業を営んでいるが、完全無農薬は絵に描いた餅である。環境負荷の影響がどの程度かわからない。
63	アイデミきたかた	学校給食の米が特別栽培米に切り替わったのはありがたい。若い農家は園芸作物の方に流れている印象があるので、米農家さんへの支援もお願いしたい。
64	アイデミきたかた	喜多方ラーメンの再定義が必要ではないかな。特徴と他のご当地ラーメンとの比較、情報発信の充実をお願いしたい。
65	アイデミきたかた	そばのブランド再生の方が心配。
66	アイデミきたかた	ラーメンブランドプロジェクトの会議では耕作放棄地を活用して地元産小麦を栽培し、麺、パンに利用したいとの話があった。積極的に行政も関わってほしいとの意見があった。
67	アイデミきたかた	観光客にも市役所駐車場を一部利用してもらうのはどうか。有料で税収にもなる。
68	アイデミきたかた	有名店がなくなるのはショックだった。次世代育成は重要。
69	高郷公民館	差別化をどのように図るのか。販路開拓の支援は必要だと思う。有機農業に対する意識の醸成はまだまだと感じる。
70	高郷公民館	宣言自体は良いのではないかな。まずは学校給食から取り組んでみては。
71	高郷公民館	説明会等を開催しながら段階的に取り組むのが良い。新潟県佐渡市の減農薬・減化学肥料の取組を視察して勉強になった。

72	高郷公民館	ひとつの懸念として、化学は悪で、自然は善だ、というような風潮にはならないように。
73	高郷公民館	あらためて喜多方ラーメンの特徴を整理する必要があると思う。そばは値段が高いため若者に受けるかどうか。
74	高郷公民館	人口減少で大変だと思いがんばってほしい。小麦栽培に取り組んでいるが、学校給食から始めてみては。
75	高郷公民館	全国的知名度があるのでがんばってほしい。他地域の店舗も研究している。ブランドに甘んじることなく奮起してほしい。
76	高郷公民館	専門的な分析ができる人や組織の必要性を感じる。
77	高郷公民館	地元産そば粉を提供できるように補助金を出してほしい。国の補助金の減額で厳しい。

その他（テーマ以外）について

No.	会場	意見要望等
1	山都保健センター	敬老会の運営方法が行政区単位で行われることになり、住民から不安の声が上がっている。行政からの一方的な通達に対し、住民の理解と協力を得るためのより丁寧な説明が必要である。
2	山都保健センター	ごみ削減運動における行政の取り組み方について、単に金銭的インセンティブを与えるだけでは不十分であり、より具体的な指導と責任ある姿勢が必要である。行政は住民とともに歩み、実践的な支援を行うべき。
3	山都保健センター	行政と住民の信頼関係が希薄であり、行政職員の意識改革が必要である。行政は住民の立場に立ち、共に課題解決に取り組む姿勢が求められている。
4	山都保健センター	敬老会の開催方法について、記念品の配布か、イベント開催かで意見がわかれた。記念品配布は公平だが、イベントの方が高齢者の交流につながるという意見もあった。一方で、イベントでは参加できない高齢者もいるため、負担が生じるという指摘もあった。予算は決まっているものの、開催方法については今後さらに検討が必要とされた。
5	山都保健センター	有害鳥獣による農作物被害が深刻化しており、対策が必要である。捕獲した個体を食用化することで、捕獲者の収入源にできるのではないかと。ただし、福島県では原発事故の影響で食用化が難しい状況にあり、そのため、県から捕獲奨励金などの支援をいただきたい。また、長野県などでは昔から有害鳥獣を食べる文化があり、そうした地域では対策が進みやすい。
6	山都保健センター	イノシシによる農作物被害がクマによる被害よりも深刻である。イノシシは掘り起こしたり作物を食べ荒らすなどの

		被害をもたらしている。一方、クマの被害は一時期ひどかったものの、最近は落ち着いている。
7	山都保健センター	被害を防ぐための対策として、電気柵は効果的だが設置費用がかかる。捕獲には専門的な知識と技術が必要であり、行政による支援が不可欠である。
8	山都保健センター	熊・猿・イノシシの駆除をお願いしたい。本当に地域住民は大変だ。
9	山都保健センター	喜多方ラーメン課・そば課ができた。「山都と言えばそば」そばサミットのようなイベントを復活してお客様を呼んできてほしい。全国的にそばを宣伝してほしい。
10	山都保健センター	区長をしているが、助成金申請書類が多すぎるのではないか、高齢化で書類が作れない。市民に優しい書類づくりにしてほしい。市民には人の共同というのが行政は丸投げだと思う。
11	山都保健センター	今年から敬老会の実施内容が変更になった。変更になったとの連絡だけだったので、とても困惑した。変更の理由や経過の説明がなかった、
12	市役所本庁舎	スポーツは健康促進、生活習慣病予防、ストレス発散に役立ち、特に高齢者の健康維持と医療費抑制に貢献する。また、スポーツを通じた仲間づくりやコミュニケーションの促進、青少年の人格形成や社会性の育成にも寄与する。少子高齢化が進む中で、スポーツの重要性が強調されており、市議会や行政によるスポーツ振興への取組を求める。
13	市役所本庁舎	児童館の受け入れ年齢制限や放課後児童クラブの拡充、夏休みの受入などの要望がする。また、公立学校における教育環境の改善や、退職教員によるボランティア支援の仕組作りづくりなどを提案する。子供への予算配分と教育環境の整備が重要であり、行政による具体的な対策が求める。
14	市役所本庁舎	縦貫インターチェンジから喜多方プラザや押切川公園体育館に直接つながる道路の建設を提案する。これにより渋滞緩和や利便性向上が期待できる。また、桜並木の延長についても要望する。
15	市役所本庁舎	若者の政治参加が少ない。時間帯やテーマを工夫し、若者が参加しやすい環境整備を提案する。アンケートを実施して適切な時間帯を検討したり、若者向けのテーマを設定したり、交流会の開催なども提案する。
16	市役所本庁舎	大仏山に30年ぶりに登ったが樹木が大きくなり景観が見えない。また来年も登りたいとは思わない。ぜひ整備をしてほしい。
17	市役所本庁舎	若者が会津に戻ってこないしUターンもして来ない。地方がさびれてしまう。戻って来ても働く場所がなく給料も低い。
18	市役所本庁舎	地方の過疎化をどうしていくのか。
19	市役所本庁舎	喜多方市の産業をどうつくっていくのか。

20	市役所本庁舎	東高校跡地、商業高校跡地はどのような利活用していくのか。厚生会館はどうするのか。
21	市役所本庁舎	喜多方市の若い人が都会に出ていってしまうのはなぜなのか、仕事がない、魅力がない、そればかりではないのではないか。せつかくの休みなのに地域の人手などで自分の時間が自由に使えない。若い人が住みやすい環境をつくっていくことが大事だと思う。とても心配している。
22	市役所本庁舎	若い人が減り、一人暮らしの高齢者世帯が多く、空き家も増えている。地区の仕事もできる人に集中しているため負担が大きくなってきている。
23	市役所本庁舎	身寄りがいなく一人暮らしでこの場所に住んでいるのが迷惑に感じている。いろいろなこと考えると行政で葬式を出してくれるだろうか、残された高齢者はどうするか考えほしい。広報誌出されているがそれが市民にどう届いているのか、広報誌にいろいろなことが書かれているが、いったい自分が利用できるのはどれなのかわからない、市民に届く言葉を発信していただきたいと思う。
24	市役所本庁舎	若い人が減っている。若い人が隣に家を建てて住んでいるが、2世帯のため行政区の会議も2世帯、役目も2世帯、役目軽減をしてほしい。コンパクトになってきているので制度も組織も変えていくべきだと思う。しかし一方では変えていけないものもあると思う。それは学校だ、一人でも子どもがいる以上、学校は残してほしい。
25	市役所本庁舎	子どもが少なくなりお祭りが出来なくなってきている。何を支援していいのかわからない。
26	市役所本庁舎	財政が減ったら財政を増やす方法を考えるべき。
27	市役所本庁舎	豊川の工業団地に工場をもってきてほしい。そうすることで人が集まってくるし、子どもも増えるのではないかとと思う。是非大企業をもってきてほしい。
28	市役所本庁舎	喜多方市は観光で生きようとしているのか。商業で生きようしているか。昔の看板がそのままになった状態になっているところもあるので、何とかしてほしい。また、押切川公園の歩道が雑草でいっぱいになっているので、年1回ボランティアの方に手伝ってもらってキレイにすべきだと思う。
29	市役所本庁舎	宿泊施設が少ない。
30	市役所本庁舎	野球場が小さい、大きなイベントが出来ない、中途半端で何も出来ない。
31	市役所本庁舎	佐渡金山が世界遺産となったことをチャンスと捉え、佐渡とつながりを持ち観光客を誘致できるよう取組んで欲しい。磐越西線を利用していただき喜多方の誘致につなげていくなど考えて欲しい。
32	市役所本庁舎	S Lのまち喜多方として動いて欲しい。ラーメンやそば食堂を設けて食堂車とし、誘客を図って欲しい。
33	市役所本庁舎	どのくらい生ゴミが捨てられているのか調べて欲しい。

34	市役所本庁舎	昔は田畑に生ゴミを捨て有機肥料として自然に還元していた。ゴミを少なくするためには、どのように取り組んでいけばいいのか検討して欲しい。
35	市役所本庁舎	テーマをひとつに絞って欲しい。じっくり話がしたかった。
36	市役所本庁舎	東高校跡地の利活用についてその後どのように進展しているのか。
37	市役所本庁舎	市民の声を絶えず吸い取って改善していただきたい。
38	熱塩加納公民館	熱塩加納町には広大な放置林があり、広葉樹が多い。まさしく金の成る木である。樹木医などの協力を得ながら、適正に伐採して林業として収入を得てはどうか。そこに地域おこし協力隊を参入し、定住者を増やすような仕組みもできる。また間伐は獣害対策にも繋がる。幹の細い木を伐採するので特段大きな重機や人手も必要ない。
39	熱塩加納公民館	林道などでは倒木している箇所があり、地権者も片付けられないことがある。重機を使用するとお金がかかるので、市の補助をいただきたい。
40	熱塩加納公民館	老人会が年々減っており、何とかしてほしい。
41	熱塩加納公民館	合併時の約束事として町民運動会は旧市内については各戸負担、それ以外の地域については市の負担となっており、その約束事は5年間で切れるはずだったが、現在もその体制が続いている。
42	熱塩加納公民館	敬老会について今年から行政区として開催することになったが、何年も中止になっており、今年から開催になって何をしたいのかわからない。区長の仕事を増やさないで欲しい。開催できる行政区(熱塩加納地区)は今ない。敬老会は、何のために開催するのか。目的が変わっていると思う。熱塩地区は市で準備した景品を配布する形にしてほしい。
43	熱塩加納公民館	日中ダムの公園での除草管理ができていないので、ダムが見えない。観光客がそこからダムが見れることがわからないのでスルーしていく。せっかくの観光資源が活用できていない。市の本気度が見えてこない。
44	塩川公民館	ゴミの収納かごは、コミュニティ助成事業から補助金が出るが、大きな行政区では5個必要なのに2個までの対応になっている。
45	塩川公民館	防災ラジオの受信状況が悪い。集会所にもラジオがほしい。
46	塩川公民館	川の祭典で魚とりのコーナーがなくなってしまった。また復活して欲しい。
47	塩川公民館	子供たちの遊べる場所をつくってほしい。家でゲームばかりやっている。
48	塩川公民館	350mmも雨が降ったら塩川は大変だ。対策をとってほしい。地域の皆さんに、水害が起きやすい所だと認識をして欲しい。自分で自分を守るといった危機感を持ってほしい。
49	塩川公民館	空き家が目立つ。小動物の棲家や温床になってしまうので、農作物の被害も懸念される。利活用や取り壊しを含めて

		しっかり介入してほしい。
50	塩川公民館	市の団地の灯りをLED化してほしい。省電力長寿命に加えて害虫の軽減にもつながるので検討してほしい。
51	塩川公民館	現行の屋内避難施設では、大規模災害時の容量が足りないと推察する。そのような場合の大規模施設をつくり、平時は子育て施設として使用してはどうか。
52	塩川公民館	行政区単位でも高齢化が深刻。市でもしっかりと支えてほしい。
53	塩川公民館	喜多方市はEVスポットが少ない。充電にはディーラーまで行かなくてはならない。せめて市役所や総合支所単位で設置されているとありがたい。
54	塩川公民館	東西自由通路の早期完成をお願いする。
55	塩川公民館	各公共施設でのマナー遵守を確認して欲しい。
56	アイデミきたかた	教員をしている。退職教員がたくさんいる。彼らは異口同音で、無償で子供たちの支援をしたいという思いを持っている。その人材登録の窓口を作っていただいて、その人材を集めていただければ、この地域に残りたいという魅力にならないかなと、私たち仲間は話し合っている。ぜひ検討してほしい。
57	アイデミきたかた	高郷の豆腐屋さんが、廃業した平出油屋さんを継ぎたいと言って、クラウドファンディングをやっている。「玉締め压榨法」の技を引き継ぎたいとしている。個人でやるのではなくて、市でもバックアップしてほしい。地域でもみんなで菜種を育てようという話も盛り上がっている。
58	アイデミきたかた	旧喜多方東高校跡地の活用をいかにするかで変わってくると思う。非常に重要だと思う。10年後どうなっているか注目している。
59	アイデミきたかた	みんべえ・マスコットキャラクターが喜多方ラーメン課・そば課の文書に付いているが、これを大いに活用していく事が大切だ。佐野市では佐野丸君が活躍している。当市でももっと活用してほしい。
60	アイデミきたかた	ペーパーレスをもっと進めて欲しい。行政区長をやっているが、全てペーパーで来る。それをメールでやり取りすれば市役所の方も負担が少なくなると思うし金もかからない。全員と言っても無理なので希望者にはそれに対応することにして欲しい。
61	アイデミきたかた	市の職員はどのくらいいるのか。パーキンソンの法則というものがある。簡単にいうと、どんな大きな冷蔵庫もいざれ満杯になるという事である。適正な人員という事を常に検証していく事が大切である。
62	アイデミきたかた	街路樹の根上がり問題。時間をかけても良いので引き続き取り組んでもらいたい。
63	アイデミきたかた	学校給食を完全米飯給食にしてほしい。

64	アイデミきたかた	オンデマンド交通を土日も運行してほしい。
65	アイデミきたかた	ファミリーサポート制度を利用しているが、最初利用料を支払ってあとから申請して一部利用料が戻る仕組みになっている。申請しないと戻ってこない仕組みを改善してほしい。
66	アイデミきたかた	給食センターがひとつにならないと給食の内容がバラバラになってしまうのではないかな。
67	アイデミきたかた	特別栽培米を生産しているが、利益があまり出ないので、若手農家が離れている現状がある。国に要望してほしい。
68	高郷公民館	高郷の豆腐屋さんが油絞りを始めた。若松の機械を引き継いで、場所が高郷じゃなくて高吉だから。資金はクラウドファンディングでやるとのこと。そこで菜種をどう確保するかとなった。地元では間に合わないの青森からとなった。福島県も菜種の品種はある。そこで色々な所に菜種の種を作ると呼び掛けている。そこで大変だと思っているのは刈り取りの時なので、コンバインを使えば収穫も楽になる。コンバインはソバでも使うが、菜種と混ぜると嫌がるので専用のものが必要となる。それを1台で良いから用意してほしい。この油は遺伝子組み換えでないの学校給食でも使える。地元で作って、地元で絞って、地元で消費できる。使用済みの油は石鹸の材料になる。バスの燃料にもなる。
69	高郷公民館	地域計画の策定に取り組んでいるが、市全体としてのビジョンを市当局と議会で議論して策定してほしい。柳津町、昭和村、金山町は全体で進んでいるように見える。例えば金山かぼちゃの団地化やエゴマ栽培の取組など。
70	高郷公民館	県営荻野漕艇場をうまく活用してほしい。昔は渡し舟があった。憩いの場として利用できないか。民宿も高齢化で受け入れていない所が増えてきているようだ。
71	高郷公民館	行政区長に対して地域から頼まれることが多くなった。なかなか対応できないこともある。

これらいただいたご意見・要望等につきましては、議会としてもその実施・実現等に向けて今後も鋭意対応に努めて参ります。多くのご発言をいただき誠にありがとうございました。